

投稿日:2020年12月13日

タイトル:おかえり！ はやぶさ



アルマ天文台の電波望遠鏡

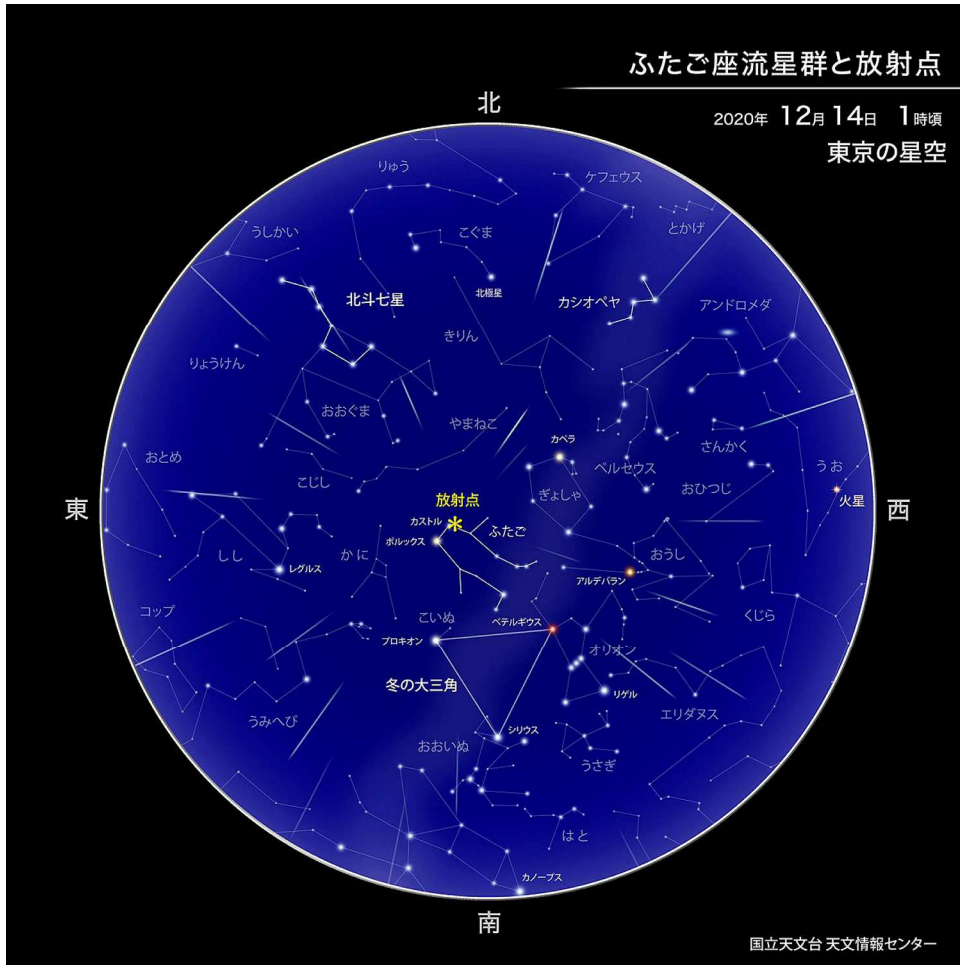
17時 30分 3.2℃ 天気:曇り

2020年12月6日 6年間の旅を終えて、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の小惑星探査機「はやぶさ2」が地球上空に戻り小惑星(りゅうぐう)から持ち帰った試料カプセルを切り離しカプセルはオーストラリアの砂漠に無事着陸したニュースを見られたと思います。「はやぶさ2」は上空から再び宇宙へ探査に向かいました。カッコいいな、と思ったのは私だけではないと思います。今後カプセルの中身の分析も期待されますね！

また思い出されるのは「初代 はやぶさ」小惑星イトカワの試料を採取し、10年ほど前の6月に地球帰還途中に故障などさまざまなトラブルに見舞われ通信途絶からも復活して最後はカプセルを切り離して地球に送り届け自らは大気圏でバラバラに燃え尽きました。

いま5年生の皆さんはちょうど生まれた頃のことですがお勧めのプラネタリウム動画があります。Youtubeなどで(小惑星探査機「はやぶさ」帰還編)見て頂くと今回の「はやぶさ2」につながるものとなると思います。はやぶさが燃え尽

きんとする時にJAXAの関係者たちが発した「おかえり！」という言葉にまるで子に対する親の気持ちが伝わりました。NASAの10分の1の予算でこのミッションを遂げた日本の技術力にも感動です。



ふたご座流星群ここからみえるかな？

2020年今年のふたご座流星群の活動は、12月14日1時頃に極大を迎えると予想されています。今年は、極大が日本で観察しやすい時間帯に比較的近い上、15日が新月のため月明かりの影響もなく、かなり良い条件で観察出来そうです。

流星が最も多く現れそうなのは、13日の夜から14日の明け方にかけてです。日付が14日に変わる頃、空の暗い場所で観察すれば、最大1時間あたり55個前後の流星が見られると予想されるそうです。観察できなかった場合は翌14日の夜でも、最大1時間あたり20個を超える流星が出現すると考えられます。いずれの夜も流星は、20時頃から現れ始め、本格的な出現は22時頃からで、夜半を過ぎた頃に数が最も多くなり、薄明が始まるまで流星の出現が続くとのこと。暖かい装備で冬の天体ショーを見てみてはいかがでしょうか。

(ま)